

評価規準の作成， 評価方法等の工夫改善 のための参考資料 (高等学校 国語)

～新しい学習指導要領を踏まえた生徒一人一人の
学習の確実な定着に向けて～

平成24年7月

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

第2章 国語総合

1 目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

「国語総合」の目標は教科の目標と同一であることから、評価の観点の趣旨も教科の評価の観点の趣旨と同じにしている。

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

3 内容のまとめ

「国語総合」においては、学習指導要領の内容の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」を内容のまとめとした。

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕については、「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」の各内容のまとめの中に、関連する事項を含めた。

4 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の事項について指導する。

ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。

イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。

ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。

エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。
- イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。
- ウ 反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。

○ 内容の(2)に明示しているとおり、国語においては、言語活動を通して内容の(1)に示されている指導事項について指導する。そこで、以下の「評価規準に盛り込むべき事項」及び「評価規準の設定例」は、内容の(1)のみを基に作成している（各領域に共通）。

なお、内容の(2)の言語活動例は、「国語総合」を履修する時点で、既に指導していることである。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもととしてしている。 ア ・ 根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとしている。 ア ・ 目的や場に応じて、効果的に話そうとしている。 イ ・ 目的や場に応じて、的確に聞き取ろうとしている。 イ ・ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重しようとしている。 ウ ・ 課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとしている。 ウ ・ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもっている。 ア ・ 根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。 ア ・ 目的や場に応じて、効果的に話している。 イ ・ 目的や場に応じて、的確に聞き取っている。 イ ・ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重している。 ウ ・ 課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合っている。 ウ ・ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。 【事項】のイ(ア) ・ 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 【事項】のイ(イ)

<p>言葉遣いに役立てようとしている。 エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。 エ 	<p>言葉遣いに役立っている。 エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。 エ
--	--

※ **ア**などの記号は、学習指導要領の内容の(1)，〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕（〔事項〕と略記している。）との対応を示している（以下同じ。）。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>内容の(1)のア</p> <p>話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> 話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。 話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成しようとしている。 自分の考えが、根拠から妥当な論理の展開で導き出されていることを相手に分かりやすく示そうとしている。 考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。 話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成している。 自分の考えが、根拠から妥当な論理の展開で導き出されていることを相手に分かりやすく示している。 考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。 	<p>〔事項〕のイ(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことに必要な、語句(又は、語彙)の構造的な仕組みについて理解している。 (例えば語彙については、「和語、漢語、外来語という語種の集合体としての国語の語彙の姿に着目し、話すことにおける使われ方の傾向について理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。) 話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 (例えば、「文の基本的な構造や、表現者

内容の(1)のイ

目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えてようとしている。・ 内容がよく伝わるよう、資料や機器などの使い方を工夫して分かりやすく話そうとしている。・ 待遇表現なども含め、目的や場にふさわしい話し方をしようとしている。・ 必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取ろうとしている。 | <ul style="list-style-type: none">・ 何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。・ 内容がよく伝わるよう、資料や機器などの使い方を工夫して分かりやすく話している。・ 待遇表現なども含め、目的や場にふさわしい話し方をしている。・ 必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取っている。 |
|--|---|

内容の(1)のウ

課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 話し合うことの目的が、合意を形成したり思考の深化を図ったりすることであることを認識しようとしている。・ 相手の立場や考えの基となる事実や事柄、考えの形成過程などを的確に捉えようとしている。・ 相手の示す根拠の適否などを確かめるために適切な質問をしようとしている。・ 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。・ 話し合いが円滑に行われるよう、相手に応じた話の構成や展開、言葉遣いなどを工夫し | <ul style="list-style-type: none">・ 話し合うことの目的が、合意を形成したり思考の深化を図ったりすることであることを認識している。・ 相手の立場や考えの基となる事実や事柄、考えの形成過程などを的確に捉えている。・ 相手の示す根拠の適否などを確かめるために適切な質問をしている。・ 相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。・ 話し合いが円滑に行われるよう、相手に応じた話の構成や展開、言葉遣いなどを工夫し |
|--|---|

の意図を表現する助詞・助動詞の用法など、話すこと・聞くことに必要な表現の特色について理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)

- ・ 話すこと・聞くことに必要な、国語の音韻（又は、文字、表記、語句、語彙、文法）の特色について理解している。
(例えば音韻については、「国語の音節は、原則的に子音と母音との規則的な組合せから成ることを、英語と対比して理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)

- ・ 話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。
(例えば、「人間関係をよりよくし調整するはたらき」などと、指導事項と関連させた具体的な内容を入れることもできる。)

〔事項〕のイ(イ)

- ・ 話すこと・聞くことに必要な文の組立て（又は、文章の組立て、語句の意味、

<p>ようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者や提案者などを立てて、話し合いを円滑に行おうとしている。 ・ 話し合いが円滑に行われるよう、話し合いの経緯を振り返ったり、これからの展開を考えたりすることができるようにしようとしている。 	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司会者や提案者などを立てて、話し合いを円滑に行っている。 ・ 話し合いが円滑に行われるよう、話し合いの経緯を振り返ったり、これからの展開を考えたりすることができるようにしている。 	<p>語句の用法、国語の表記の仕方)について理解している。(例えば、「自己評価や相互評価を通して」などと、指導事項と関連させた具体的な内容を入れることもできる。)</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>内容の(1)のエ</p> <p>話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価や相互評価がもつ機能を認識しようとしている。 ・ 自分やほかの生徒の、話すこと・聞くこと、話し合うことを評価し、直すべき点を明らかにしようとしている。 ・ 表現の仕方についての評価を通して得たことを、話の構成や展開を改善することに生かそうとしている。 ・ 表現の仕方についての評価を通して得たことを、話す速度や抑揚、間の取り方などを改善することに生かそうとしている。 ・ 表現の仕方についての評価を通して得たことを、相手に応じた用語や待遇表現の選択、場面や状況、用いる機器に応じた話し方に生かそうとしている。 ・ 相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。(例えば、「それまで知らなかった言葉を話すことに使い」などと、指導事項と関連させた具体的な内容を入れることもできる。)

(2) 「B 書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の事項について指導する。

- ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。
 - イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
 - ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。
 - エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。
- イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。
- ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手や目的に応じて題材を選ぼうとしている。 ア ・ 文章の形態や文体、語句などを工夫して書こうとしている。 ア ・ 論理の構成や展開を工夫しようとしている。 イ ・ 論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとしている。 イ ・ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとしている。 ウ ・ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てようとしている。 エ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手や目的に応じて題材を選んでいいる。 ア ・ 文章の形態や文体、語句などを工夫して書いている。 ア ・ 論理の構成や展開を工夫している。 イ ・ 論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。 イ ・ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。 ウ ・ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立っている。 エ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。 〔事項〕のイ(ア) ・ 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 〔事項〕のイ(イ) ・ 常用漢字の読みに慣れている。 ・ 主な常用漢字が書けている。 〔事項〕のウ(ア)

<ul style="list-style-type: none"> 優れた表現に接してその条件を考えたり，書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしている。 エ 	<ul style="list-style-type: none"> 優れた表現に接してその条件を考えたり，書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。 エ
--	--

【「B 書くこと」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>内容の(1)のア 相手や目的に応じて題材を選び，文章の形態や文体，語句などを工夫して書くこと。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 誰に向かって，何のために，どのような条件で書くのかを考えようとしている。 書く相手や目的にふさわしい材料を，多様な方法で収集し，用途などに応じて適切に選ぶようとしている。 書く相手や，書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体，語句などを考え，適切に選ぶようとしている。 文章の形態や文体，語句などに合った適切な表現の仕方を書こうとしている。 		<p>〔事項〕のイ(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くことに必要な，語句（又は，語彙）の構造的な仕組みについて理解している。 (例えば語彙については，「文章の内容や種類などによって，和語，漢語，外来語などがどのように使い分けられているかについて理解している。」などと，指導事項と関連させ一層具体化することもできる。) 書くことに必要な，文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 (例えば，「文章の内容や形態ごとに，それぞれに固有の表現の技法や語句の使い方などがあることについて理解している。」などと，指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>内容の(1)のイ 論理の構成や展開を工夫し，論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「現状認識－問題提起－解決－結論－展望」など，文章の組立てや進め方を工夫して書こうとしている。 自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 「現状認識－問題提起－解決－結論－展望」など，文章の組立てや進め方を工夫して書いている。 自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書いている。

<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示そうとしている。 自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。 自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。 	<p>きる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くことに必要な、国語の音韻（又は、文字、表記、語句、語彙、文法）の特色について理解している。
<p>内容の(1)のウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 事実や事柄などを、対象に忠実かつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明しようとしている。 手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明しようとしている。 物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 人物の行動や言動、心情などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 相手や目的などによって、説明と描写とを効果的に使い分けようとしている。 相手や目的などによって、簡潔な述べ方や丁寧な述べ方、断定的な述べ方や婉曲的な述べ方などを適切に使い分けようとしている。 説明するとき、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを適切に書き分けようとしている。 描写するとき、比喩をはじめとした表現の技法を適切に 	<ul style="list-style-type: none"> 事実や事柄などを、対象に忠実かつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。 手順や理由を、順序や論理を追って読み手によく分かるよう論理的に説明している。 物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 人物の行動や言動、心情などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 相手や目的などによって、説明と描写とを効果的に使い分けている。 相手や目的などによって、簡潔な述べ方や丁寧な述べ方、断定的な述べ方や婉曲的な述べ方などを適切に使い分けている。 説明するとき、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを適切に書き分けている。 描写するとき、比喩をはじめとした表現の技法を適切に 	<p>(例えば表記については、「外国の固有名詞や外来語の片仮名表記の多様性について、音韻と表記との関連から理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。 <p>(例えば、指導事項と関連させ、「認識」、「伝達」、「思考」、「想像」などの点から、具体的な内容を入れることもできる。)</p> <p>【事項】のイ(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書くことに必要な文の組立て（又は、文章の組立て、語句の意味、語句の用法、国語の表記の仕方）について理解している。 <p>(例えば、文章の組立てについては、「段落を設けることは、自分の思考を整理して展開し、述べたい</p>

用いて書こうとしている。

用いて書いている。

内容の(1)のエ

優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

- 文章の内容に関わる、個人的なものの見方や考え方、発想の豊かさや観察の鋭さなどを捉えようとしている。
- 文章の構成や展開の着実さや意外性などを捉えようとしている。
- 読み手を意識した適切な用語や引例などを捉えようとしている。
- 自己評価や相互評価がもつ機能を認識しようとしている。
- 文章から感じ取ることができる発想の豊かさ、構成や展開の工夫、表現の特色などを捉えようとしている。
- 自分やほかの生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにしようとしている。
- 表現の仕方についての評価を通して得たことを、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くことに生かそうとしている。
- 表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしようとしている。
- 表現の仕方についての評価を通して得たことを、間違いなく、過不足なく書くことに生かし、情報の伝達を効果的に行おうとしている。

- 文章の内容に関わる、個人的なものの見方や考え方、発想の豊かさや観察の鋭さなどを捉えている。
- 文章の構成や展開の着実さや意外性などを捉えている。
- 読み手を意識した適切な用語や引例などを捉えている。
- 自己評価や相互評価がもつ機能を認識している。
- 文章から感じ取ることができる発想の豊かさ、構成や展開の工夫、表現の特色などを捉えている。
- 自分やほかの生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにしている。
- 表現の仕方についての評価を通して得たことを、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くことに生かしている。
- 表現の仕方についての評価を通して得たことを、論理の構成や展開を工夫して書くことに生かし、説得力のある文章にしている。
- 表現の仕方についての評価を通して得たことを、間違いなく、過不足なく書くことに生かし、情報の伝達を効果的に行っている。

内容を効果的に表現することになることを理解している。」、語句の意味については、「語句の意味には広がりがあり、文脈との関連において用いる語句を適切に選ぶ必要があることを理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。）

- 正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。
(例えば、「日常余り用いないが、思考し、表現するためには欠かせない語がることを理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)

のウ(ア)

- 常用漢字の音訓を正しく使っている。
- 主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。
(例えば、「中学校までで学習済みの漢字も含め」などと、生徒の実態に応じた具体的な内容を入れることもできる。)

<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機として
---	--

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 次の事項について指導する。

- ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。
- イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
- ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
- エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりすること。
- オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。
- イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。
- ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。
- エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。〔事項]のア(ア) 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。ア 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。ア 	<ul style="list-style-type: none"> 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。〔事項]のア(ア)

<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとしている。イ 文章の内容を必要に応じて要約しようとしている。イ 文章の内容を必要に応じて詳述しようとしている。イ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。ウ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとしている。エ 文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとしている。エ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いようとしている。オ 幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。オ 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。イ 文章の内容を必要に応じて要約している。イ 文章の内容を必要に応じて詳述している。イ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。ウ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。エ 文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。エ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いている。オ 幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。オ 	<ul style="list-style-type: none"> 文語の決まり、訓読の決まりなどを理解している。【事項】のア(イ) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。【事項】のイ(ア) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。【事項】のイ(イ) 常用漢字の読みに慣れている。 主な常用漢字が書けている。【事項】のウ(ア)
---	---	--

【「C 読むこと」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
<p>以下に示す【評価規準の設定例】は、近代以降の文章、古典のいずれにも該当する。</p>		
<p>【事項】のア(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付こうとしている。 我が国の言語文化は、中国 	<p>(必要に応じて内容の(1)のアからオの設定例と組み合わせる。)</p>	<p>【事項】のア(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。(例えば、「作品一つ一つに表れている個性と価値」、「作品を集散的に捉えた時

をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。

内容の(1)のア

文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。

- ・ 文学的な文章（又は，論理的な文章，実用的な文章）を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。
- ・ 文学的な文章（又は，論理的な文章，実用的な文章）を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。
- ・ 文学的な文章（又は，論理的な文章，実用的な文章）を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。
- ・ 文学的な文章（又は，論理的な文章，実用的な文章）を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。

内容の(1)のイ

文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり，必要に応じて要約や詳述をしたりすること。

- ・ 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。
- ・ 目的に応じて，文章全体をまとめ（又は，特定の項目についてまとめ）ようとしている。
- ・ 目的に応じて，詳しく解説（又は，分かりやすく説明）しようとしている。
- ・ 語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。
- ・ 目的に応じて，文章全体をまとめ（又は，特定の項目についてまとめ）ている。
- ・ 目的に応じて，詳しく解説（又は，分かりやすく説明）している。

内容の(1)のウ

文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わうこと。

- ・ 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，異なる立場から読み深めようとしている。
- ・ 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，異なる立場から読み深めている。

代全体の特質」などと，指導事項と関連させた具体的な内容を入れることもできる。）

- ・ 我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。（例えば，「漢語や漢文訓読の文体が，現代においても国語による文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。」などと，指導事項と関連させ一層具体化することもできる。）

【事項】のア(イ)

- ・ 古文を読むことに役立つ，文語の決まりを身に付けている。
- ・ 漢文を読むことに役立つ，訓読の決まりを身に付けている。（指導事項と関連させ，文語の決まりや，訓読の決まりの具体的な内容を入れることもできる。）

【事項】のイ(7)

- ・ 国語の言葉は，歴史的にみてどのようなように成立し変遷してきたかを理解している。

<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 	<p>(例えば、「漢語の流入と定着、西洋からの外来語の流入と定着という、語彙の歴史的な経緯について理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 語句(又は、語彙)の構造的な仕組みについて理解している。 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>内容の(1)のエ</p> <p>文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりすること。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 文章の構成や展開を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察しようとしている。 文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 		<p>(例えば、文章の形態による特色としては、「歌物語における和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の音韻(又は、文字、表記、語句、語彙、文法)の特色について理解している。 言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。 <p>(例えば、「生活や文化の伝統を維持するはたらき」などと、指導事項と関連させた具体的な内容を入</p>

内容の(1)のオ

幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">幅広い形態、内容、分野の本や文章を読み、情報を得ようとしている。幅広い方法で、幅広い場から本や文章を手に入れ、情報を得ようとしている。情報源を選択し、そこから得た情報を評価したり、目的に応じて適切に加工したりしようとしている。様々な本や文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none">幅広い形態、内容、分野の本や文章を読み、情報を得ている。幅広い方法で、幅広い場から本や文章を手に入れ、情報を得ている。情報源を選択し、そこから得た情報を評価したり、目的に応じて適切に加工したりしている。様々な本や文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしている。様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成している。 |
|--|--|

れることもできる。)

- 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。

〔事項〕のイ(イ)

- 読むことに必要な文の組立て（又は、文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方）について理解している。（例えば語句の意味については、「語句の、文脈の中におけるニュアンスなどが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。」などと、指導事項と関連させ一層具体化することもできる。）

- 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。

〔事項〕のウ(7)

- 常用漢字の音訓を正しく読んでいる。
- 主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。

評価規準の作成，評価方法等の工夫改善
のための参考資料
(高等学校 数学)

～新しい学習指導要領を踏まえた生徒一人一人の
学習の確実な定着に向けて～

平成24年7月

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

第2章 数学 I

1 目標

数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

2 評価の観点の趣旨

学習指導要領を踏まえ，数学 I の特性に応じた評価の観点の趣旨は以下のとおりである。

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析の考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析における基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身に付けている。

3 内容のまとめ

数学 I においては，学習指導要領の各大項目の「(1) 数と式」，「(2) 図形と計量」，「(3) 二次関数」，「(4) データの分析」を内容のまとめとした。

4 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「(1) 数と式」

【学習指導要領の内容】

(1) 数と式

数を実数まで拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。

ア 数と集合

(ア) 実数

数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

(イ) 集合

集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。

イ 式

(ア) 式の展開と因数分解

二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

(イ) 一次不等式

不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

【「(1) 数と式」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
数と集合及び式に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象を数学的に表現して考察したり、式を多面的に見たりして事象の考察に活用することができる。	簡単な無理数の計算をしたり、与えられた命題から新たな命題をつくったり、数量の関係を式で表現して的確に処理したりすることができる。	数と集合及び式における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

【「(1) 数と式」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
【実数】 ・数の体系を拡張する過程や数の四則計算に関心を持ち、それらを数の考察に活用しようとしている。	・数を拡張してきた過程を考察することができる。 ・数の四則計算の可能性について考察するこ	・簡単な無理数についての四則計算ができる。	・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・実数が直線上の点と1対1に対応している

	とができる。		ことを理解している。
【集合】 ・集合の包含関係と命題を関連付けて捉え、それらを命題の考察に活用しようとしている。	・ベン図などを用いて数学の対象を整理しそれらを多面的・統合的に見ることができる。 ・事象を命題として表現し、考察することができる。	・与えられた二つの集合の共通部分や和集合、補集合などを求めることができる。 ・簡単な命題やその命題の逆・裏・対偶について真偽を証明することができる。	・集合に関する基本的な用語・記号を理解している。 ・命題の必要条件・十分条件、逆・裏・対偶などを集合と関連付けて理解している。
【式の展開と因数分解】 ・具体的な事象の考察に式の展開や因数分解などを活用しようとしている。	・一つの文字に着目したり、一つの文字に置き換えたりするなどして、いろいろな式の見方をすることができる。 ・目的に応じて、的確に式を変形する方法を考察することができる。	・式を用いて事象を適切に表現することができる。 ・見通しをもって式を扱うことができる。 ・乗法公式や因数分解の公式などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。	・乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。 ・複雑な式が簡単な式に帰着できることを理解している。
【一次不等式】 ・数量の関係を不等式で表すことのよさを捉え、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・一次不等式の解について、数直線と対比したり、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。 ・不等式の性質を等式の性質と対比して捉えることができる。 ・不等式の性質を基にして、一次不等式の解き方を考察することができる。	・数量の関係を一次不等式で表すことができる。 ・不等式の性質を基にして、一次不等式を解くことができる。 ・一次不等式の解を数直線上に表すことができる。	・不等式の中に含まれている文字の意味を理解している。 ・不等式の性質を理解している。 ・一次不等式とその解の意味を理解し、解を求めるための基礎的な知識を身に付けている。

(2) 「(2) 図形と計量」

【学習指導要領の内容】

(2) 図形と計量

三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。

ア 三角比

(ア) 鋭角の三角比

鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。

(イ) 鈍角の三角比

三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し，鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。

(ウ) 正弦定理・余弦定理

正弦定理や余弦定理について理解し，それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。

イ 図形の計量

三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。

[用語・記号] 正弦，sin，余弦，cos，正接，tan

【「(2) 図形と計量」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
角の大きさなどを用いた計量に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。	事象を三角比を用いて考察し表現したり，思考の過程を振り返ったりすることなどを通して，角の大きさなどを用いて計量を行うための数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を三角比を用いて表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	直角三角形における三角比の意味，三角比を鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質を理解し，知識を身に付けている。

【「(2) 図形と計量」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
【鋭角の三角比】 ・鋭角の三角比や三角比の相互関係に関心をもち，それらを直角三角形の計量に活用しようとしている。	・図形の相似の考え方をを用いて，直角三角形の辺の比を角との関係で捉えることができる。	・直角三角形を用いて考えられる計量の問題を，三角比の記号を用いて表現し処理することができる。	・正弦，余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角との関係として理解し，基礎的な知識を身に付けている。

	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係を用い、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の相互関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。
<p>【鈍角の三角比】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比を鈍角まで拡張する考えに関心を持ち、それらを図形の性質の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 90°までの三角比の表を用いて鈍角の三角比の値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鈍角まで拡張した三角比の意義を理解している。
<p>【正弦定理・余弦定理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正弦定理・余弦定理が有用であることを認識し、それらを図形の計量に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正弦定理・余弦定理を導く過程を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の決定条件が与えられたとき、三角形の残りの要素を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正弦定理・余弦定理を三角形の決定条件と関連付けて理解している。
<p>【図形の計量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角比や正弦定理・余弦定理などを平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形や空間図形の計量に活用するために正弦定理・余弦定理の式を多面的に見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角比や正弦定理・余弦定理を用いて平面図形や空間図形の計量をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正弦定理・余弦定理の利用の仕方及び三角形の面積の求め方について基礎的な知識を身に付けている。

(3) 「(3) 二次関数」

【学習指導要領の内容】

(3) 二次関数

二次関数とそのグラフについて理解し、二次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。

ア 二次関数とそのグラフ

事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。

イ 二次関数の値の変化

(ア) 二次関数の最大・最小

二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。

(イ) 二次方程式・二次不等式

二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。

【「(3) 二次関数」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
二次関数とそのグラフや値の変化に関心をもつとともに、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し、事象の考察に二次関数を活用しようとしている。	事象を二次関数を用いて考察し表現したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、関数的な見方や考え方を身に付けている。	二次関数を用いて数量の変化を表現し、関数の値の変化を調べることができる。	二次関数とそのグラフ及び関数の値の変化における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

【「(3) 二次関数」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
【二次関数とそのグラフ】 ・二次関数とそのグラフについて関心を持ち、それらを二次関数の考察に活用しようとしている。	・二次関数の式とグラフを関係付けて考察することができる。	・二次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフと $y=ax^2$ のグラフの位置関係を調べることができる。	・二次関数の式やグラフの特徴について理解している。
【二次関数の最大・最小】 ・二次関数の値の変化に関心を持ち、具体的な事象の考察に	・二次関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察	・二次関数のグラフや式を用いて、二次関数の最大値・最小	・二次関数の最大値・最小値とその求め方について理解して

<p>二次関数の最大・最小を活用しようとしている。</p>	<p>することができる。</p>	<p>値を求めることができる。</p>	<p>いる。</p>
<p>-----</p>			
<p>【二次方程式・二次不等式】</p>			
<p>・二次関数のグラフと x 軸の位置関係を基に、二次方程式や二次不等式の解について考察しようとしている。</p>	<p>・二次関数のグラフと x 軸の位置関係を二次方程式の解に対応させて考察することができる。</p> <p>・二次不等式の解を二次関数のグラフを用いて考察することができる。</p>	<p>・二次関数のグラフと x 軸の位置関係を二次方程式の解を用いて求めることができる。</p> <p>・二次関数のグラフを活用して二次不等式の解を求めることができる。</p>	<p>・二次関数のグラフと x 軸の位置関係と二次方程式の解との関係を理解している。</p> <p>・二次不等式の解の意味を二次関数のグラフとの関係から理解している。</p>

(4) 「(4) データの分析」

【学習指導要領の内容】

(4) データの分析

統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。

ア データの散らばり

四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味について理解し，それらを用いてデータの傾向を把握し，説明すること。

イ データの相関

散布図や相関係数の意味を理解し，それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。

【「(4) データの分析」の評価規準に盛り込むべき事項】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
データの散らばり及びデータの相関に関心をもつとともに，統計的な考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	事象をデータを用いて考察し，その傾向などを的確に表現することができる。	事象をデータを用いて表現・処理する仕方やデータの傾向を把握する方法などの技能を身に付けている。	データの分析における基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身に付けている。

【「(4) データの分析」の評価規準の設定例】

関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
【データの散らばり】 ・四分位数，四分位偏差，分散及び標準偏差などを用いてデータの傾向を把握し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	・四分位数，四分位偏差，分散及び標準偏差などを用いてデータの傾向を捉え，それらを的確に表現することができる。	・四分位数，四分位偏差，分散及び標準偏差などを求めることができる。	・四分位数，四分位偏差，分散及び標準偏差などの意味を理解している。
【データの相関】 ・散布図や相関係数などを用いてデータの相関を把握し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	・散布図及び相関係数などを用いてデータの傾向を捉え，それらを的確に表現することができる。	・散布図を描いたり，相関係数を求めたりすることができる。	・散布図及び相関係数などの意味を理解している。

評価規準の作成，評価方法等の工夫改善
のための参考資料
(高等学校 外国語)

～新しい学習指導要領を踏まえた生徒一人一人の
学習の確実な定着に向けて～

平成24年7月

国立教育政策研究所
教育課程研究センター

第2章 コミュニケーション英語 I

1 目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2 評価の観点の趣旨

学習指導要領を踏まえ、「コミュニケーション英語 I」の特性に応じた評価の観点の趣旨は以下のとおりである。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

3 内容のまとめ

「コミュニケーション英語 I」においては、学習指導要領の内容に示されている言語活動を基に内容のまとめを設定した。すなわち、次のとおりである。

ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。

イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。

エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

以上ア～エの言語活動を、それぞれ、

アは、聞いて理解する活動なので、「聞くこと」、

イは、読んで理解したり音読したりする活動なので、「読むこと」、

ウは、話すことを中心に展開する活動なので、「話すこと」、

エは、書いて表現する活動なので、「書くこと」

と捉え、これらを内容のまとめとした。

4 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「聞くこと」

【学習指導要領の内容】

ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。

【(1) 「聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。		英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。

【(1) 聞くこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・相づちを打ったり必要に応じてメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。 ・聞いたことについて、簡単な言葉や動作などで反応している。 ・聞き取れない箇所や未知の語句があっても、推測するなどして聞き続けている。 ・相手に確認したり、繰り返しや説明を求めたりしながら聞き続けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて的確に聞き取ることができる。 ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。 ・質問、依頼、指示などを聞いて、簡単な言葉や動作などで適切に応じることができる。 ・場面や状況、背景、 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の発音、音変化、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解している。 ・話し手の意図や気持ちを表すリズムやイントネーションなどの違いを理解している。 ・「聞くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身に付けている。 ・場面や状況、目的

		<p>相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 出来事や物事についての説明や様々な会話を聞いて、重要な語句などを手掛かりにして概要や要点を理解することができる。 情報と考え、事実と意見を区別し、整理しながら聞くことができる。 	<p>に応じた表現や論理の展開を表す表現についての知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。
--	--	--	--

(2) 「読むこと」

【学習指導要領の内容】

イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。

【(2) 「読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	聞き手に伝わるように英語で音読することができる。	英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。

【(2) 読むこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・読みながらメモをとるなどして、関心をもって読んでいる。	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的	・単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的

<ul style="list-style-type: none"> ・個人，ペア，グループなどでの音読に積極的に取り組んでいる。 ・必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。 ・理解できないことや未知の語句があっても，推測するなどして読み続けている。 	<p>な特徴を捉えて音読することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。 ・その場の状況，聞き手の反応，話題，伝えようとする内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさを音読することができる。 	<p>確に読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明などを読んで，特に重要な事実等を捉えることを通じ，全体の要旨を理解することができる。 ・物語などを読んで，登場人物の言動やその言動の理由等を捉えることを通じ，概要や要点を理解することができる。 ・つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み，論理がどのように展開しているかを把握することができる。 ・文章の内容から，書き手の意図を推測することができる。 ・説明などを読んで，事実と意見などを区別して内容を理解することができる。 ・読んだ内容についての賛否や簡単な感想を述べるように，批判的に読むことができる。 	<p>な特徴を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の言語活動に用いられている語句や文構造，文法事項などについての知識を身に付けている。 ・段落におけるトピック・センテンスの働きについての知識を身に付けている。 ・文と文，段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。 ・場面や状況，目的に応じた表現や論理の展開を表す表現についての知識を身に付けている。 ・様々なメディアに特有の文体や論理構造の特徴を理解している。 ・英語を使用している人々の日常生活，風俗習慣など，「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。
---	---	--	--

(3) 「話すこと」

【学習指導要領の内容】

ウ 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。

【(3) 「話すこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	情報や考えなどについて，英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。		英語の仕組み，使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに，言語の背景にある文化を理解している。

【(3) 話すこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず，積極的に情報や考えなどについて話している。 ・互いに協力しながら，質問したり意見を交換したりしている。 ・うまく言えないことがあっても，既知の語句や表現を用いるなどして情報や考えなどを伝えている。 ・授業を通して学んだことや，学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して話 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の発音，リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて適切に話すことができる。 ・語句や表現，文法事項などの知識を活用して適切に話すことができる。 ・場面や状況に応じた適切な表現を用いて話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に応答することができる。 ・情報や考えなどについて，互いに質 		<ul style="list-style-type: none"> ・単語の発音，リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を理解している。 ・「話すこと」の言語活動に用いられている語句や文構造，文法事項などについての知識を身に付けている。 ・話合いや意見の交換を円滑に行うために必要な表現や方法についての知識を身に付けている。 ・場面や状況に応じた表現についての

<p>している。</p>	<p>問したり質問に答えたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話すことができる。 ・その場の状況、聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちなどに応じた適切な速度や声の大きさを話すことができる。 ・事実と意見などを区別して話すことができる。 		<p>知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。
--------------	---	--	---

(4) 「書くこと」

【学習指導要領の内容】

エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。

【(4) 「書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<p>「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。</p>		<p>英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。</p>

【(4)「書くこと」の評価規準の設定例】

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて書いている。 ・読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。 ・必要に応じて辞書などを活用して書いている。 ・うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして書き続けている。 ・授業を通して学んだことや、学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に書くことができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。 ・聞いたり読んだりした内容を、平易な表現に置き換えたり、情報の順番を変えたりするなどして、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。 ・自分が伝えたいことについて、話題を明示した上で、それに関する意見やその理由を書くことができる。 ・トピック・センテンスやキーワードを適切に用いて、要点が明確な文章を書くことができる。 ・つながりを示す語やフレーズを適切に用いて、論理の展開が明確な文章を書くことができ 		<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身に付けている。 ・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。 ・段落におけるトピック・センテンスの働きについての知識を身に付けている。 ・文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。 ・場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けている。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。

る。

- ・事実と意見などを区別して書くことができる。
- ・読み手からの指摘に基づいて、表現の曖昧さを無くしたり、語句や文法などの誤りを正したりすることができる。